

■ちよだ家プロジェクト

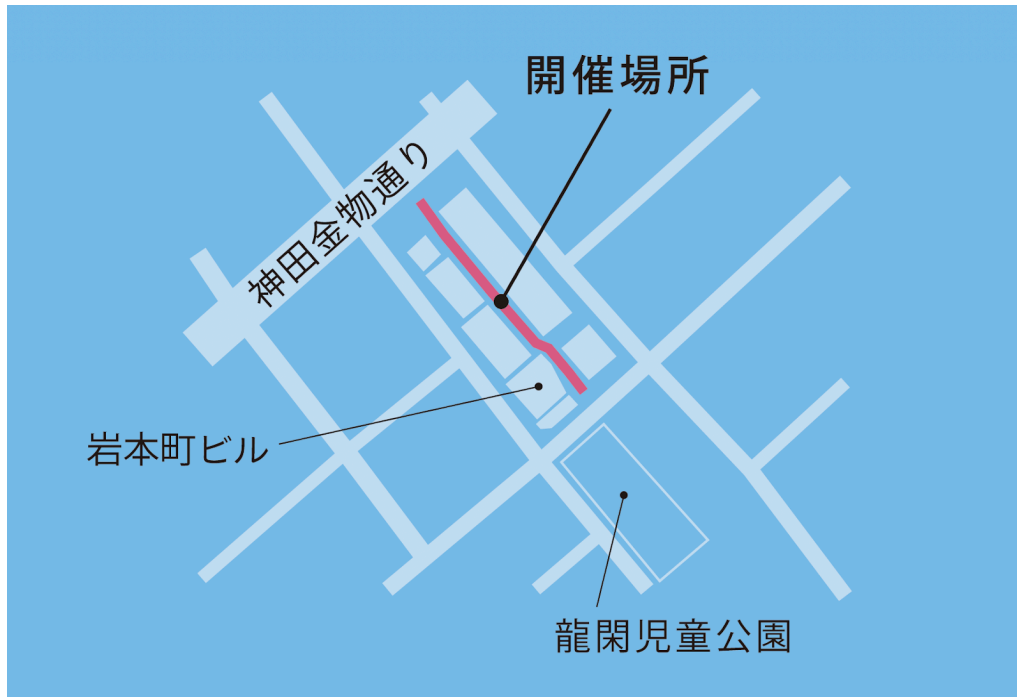
1：基本情報

①主催者

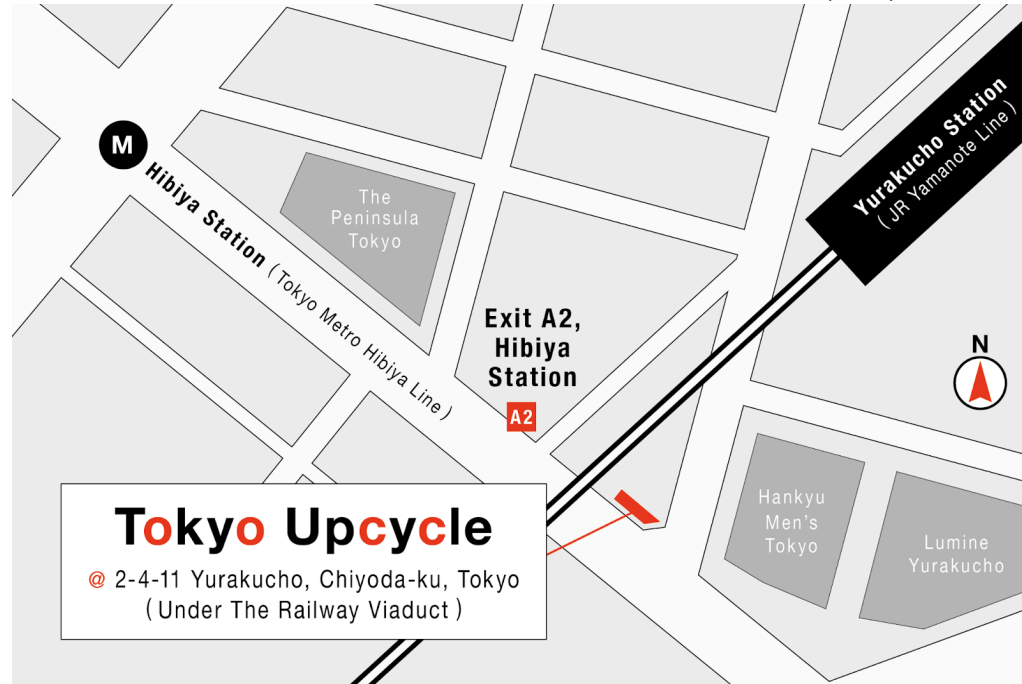
ポンドデザイン研究所
(以下、「ポンド」と表記する)
東京都立大学システムデザイン学部インダストリアルアート学科・学域インテリアデザインスタジオ
(以下、「インテ研」と表記する)

②実施場所（エリア）

イベント第一弾 『すきまキッズラボ』
東京都千代田区岩本町1-14と東神田1-1に挟まれた隙間の道 (東京都下水道局管理の暗渠)



イベント第二弾 『Tokyo Upcycle』
東京都千代田区有楽町2-4-11付近のガードパイプに囲われた場所 (都道)



③企画から実施までの活動の流れ（活動に必要な申請書関係含む）

5月

【企画検討】

05月02日～05月21日：公募提案に向けた企画検討

05月22日：応募資料とPJ参考資料を郵送にて提出

6月

06月05日：千代田区景観・都市計画課との第1回打ち合わせ 【打合せ内容：応募内容についてのヒアリング】

06月20日：採択通知

06月25日：インテ研内で活動メンバー募集

7月

07月01日：活動メンバー確定

07月03日：千代田区景観・都市計画課との第2回打ち合わせ 【打合せ内容：実施内容/懸念事項/実施場所の相談】

【準備】

07月09日：第1回チームMTG 【打合せ内容：目標共有/テーマ決め/「馬の水飲み広場」を候補から除外決定】

07月16日：第2回チームMTG 【打合せ内容：アイデア共有】

07月30日：第3回チームMTG 【打合せ内容：実施場所リサーチ結果共有】

07月30日：千代田区景観・都市計画課へ候補地10箇所の活用実現可能性の確認依頼

8月

08月01日：千代田区景観・都市計画課から新規で候補地2箇所の提案あり(7月3日依頼内容の回答)

08月06日：第4回チームMTG 【打合せ内容：アイデア共有/実施場所リサーチ結果共有】

08月13日：第5回チームMTG 【打合せ内容：暗渠の活用アイデア共有】

08月22日：千代田区役所にてサンプルとしてコロナ対策アクリル板を5枚受領

08月24日：第6回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボ開催地フィールドワーク/ディスカッション】

08月29日：千代田区景観・都市計画課より候補地10箇所の活用実現可能性の回答あり

08月30日：第7回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボの遊び内容検討】

9月

09月07日：第8回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボの遊び内容検討】

09月10日：千代田区景観・都市計画課へすきまキッズラボとTokyo Upcycleの企画書提出

09月20日：第9回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボの広報検討/アクリル加工検証】

09月23日：第10回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボのアクリルを活用した遊び検討】

09月27日：第11回チームMTG 【打合せ内容：アンケート内容検討】

09月30日：千代田区景観・都市計画課との第3回打ち合わせ 【打合せ内容：コロナアクリル板を200枚ほど受領】

10月

10月08日：第12回チームMTG 【打合せ内容：製作/Tokyo Upcycleの内容検討】

10月15日：千代田区景観・都市計画課より11/5号の区広報紙初校受領(すきまキッズラボ)

10月15日：第13回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボのポスター作成/Tokyo Upcycle製作】

10月16日：警察署協議日程が合わず、Tokyo Upcycleの開催日が11月2日から12月13日に変更確定

10月21日：千代田区景観・都市計画課より11/5号の区広報紙2校受領(すきまキッズラボ)

10月22日：調整により、すきまキッズラボの開催日が11月16日から11月30日に変更確定

10月22日：第14回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボ/Tokyo Upcycle製作】

10月29日：第15回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボ/Tokyo Upcycle製作】

11月

11月03日：すきまキッズラボ公式Instagram発信開始

11月04日：すきまキッズラボポスター用に千代田区紋章使用申請書を千代田区景観都市計画課に提出

11月04日：千代田区公式SNS掲載依頼書提出(すきまキッズラボ)

11月05日：丸の内警察署にて協議(Tokyo Upcycle)

11月05日：第16回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボ/Tokyo Upcycle製作】

11月07日：すきまキッズラボ近隣マンションへのチラシ投函許可取り

11月10日：千代田区公式SNSにて周知(すきまキッズラボ)

11月10日：私立保育園へすきまキッズラボのチラシ配布

11月11日：広報掲示板掲載用ポスター及び交換使用のチラシ千代田区役所の窓口へ持参

11月12日：第17回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボ/Tokyo Upcycle製作】

11月14日：千代田区景観・都市計画課より保育園/小学校/児童館/図書館にすきまキッズラボのチラシ配布

11月14日：千代田区景観・都市計画課より12/5号の区広報紙初校受領(Tokyo Upcycle)

11月14日：千代田工区にて裏判依頼/受領(Tokyo Upcycle)

11月16日：すきまキッズラボ近隣へチラシポスティング

11月18日：丸の内警察署にて道路使用許可申請書提出(Tokyo Upcycle)

11月18日：イベント保険加入

11月19日：第18回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボ/Tokyo Upcycle製作/作品撮影】

11月21日：丸の内警察署にて道路使用許可証受領(Tokyo Upcycle)

11月21日：東京都第一建設事務所にて道路一時使用届提出(Tokyo Upcycle)

11月21日：千代田区景観・都市計画課より12/5号の区広報紙2校受領(Tokyo Upcycle)

11月25日：Tokyo Upcycle公式Instagram発信開始

11月25日：千代田区公式SNS掲載依頼書提出(Tokyo Upcycle)

11月26日：PR TIMESにてプレスリリース配信

11月26日：第19回チームMTG 【打合せ内容：すきまキッズラボの製作/車へ荷物搬入】

【活動実施①】

11月30日：すきまキッズラボ 実施

12月

12月01日：記録写真/千代田区紋章使用実績報告書 提出

12月03日：第20回チームMTG 【打合せ内容：Tokyo Upcycle製作】

12月04日：千代田区公式SNSにて周知(Tokyo Upcycle)

12月10日：第21回チームMTG 【打合せ内容：Tokyo Upcycle製作】

【活動実施②】

12月13日：Tokyo Upcycle 実施

12月17日：第22回チームMTG 【打合せ内容：振り返り/荷物整理】

2026年2月27日：活動実績報告書提出

④活動の内容

千代田区ウォカブルな活動採択案件

すきまキッズラボ

sukima kids lab.
遊びながら創造力と表現力を育む
子ども向けイベント
道であそぼう！
チョークでお絵描き

パタパタおもちゃ作り

area 1

area 2

area 3

立体パズル

無料開催 /
11/30 (日) (雨天時中止)
11:00~16:30

岩本町 1-14 と 栗神田 1-1 に挟まれた隙間の道

いつも見過ごしてしまうような場所が、1日だけ「すきまキッズラボ」になります！
コロナのあと、使われなくなったアクリルパネルが、おもちゃや立体パズル、チョークケースに変身します！お家の中ではなく、青空の下でしかできない発見やワクワクを一瞬に体験してみませんか？環境に優しく、まちが好きな少し特別な一日。ぜひ親子でご参加くださいませ！

開催場所
栗神田(岩本町寄り)
岩本町ビル
駿馬児童公園

ポンドデザイン研究所 (お問い合わせ: info@ponddesignlab.com)
東京都立大学インテリアデザインスタジオ

詳細はこちら

このイベントはウォカブルなまちづくりの実証実験として、少し狭いすきま道をにぎわいあふれる交流の場にする事を目標に行います。



『すきまキッズラボ』

概要：道にチョークで絵を描いたり、カラクリおもちゃを作ったりするなど、遊びながら創造力と表現力を育む子ども向けの屋外イベント。

開催日：2025年11月30日(日)
設営：9:00~11:00
実施：11:00~16:30
撤収：16:30~17:30

地域課題：少し薄暗く、人通りも少ないため、路上喫煙の問題に悩まされている場所。この場所を少しでも明るく、また地域に開かれた賑わいあふれる交流の場にする事を目標に実施。

ポイント：千代田区役所にて役目を終えたコロナ対策パーティションを活用し、オリジナルのおもちゃを用意。

来場者数：200名程度



○パタパタおもちゃづくりワークショップ



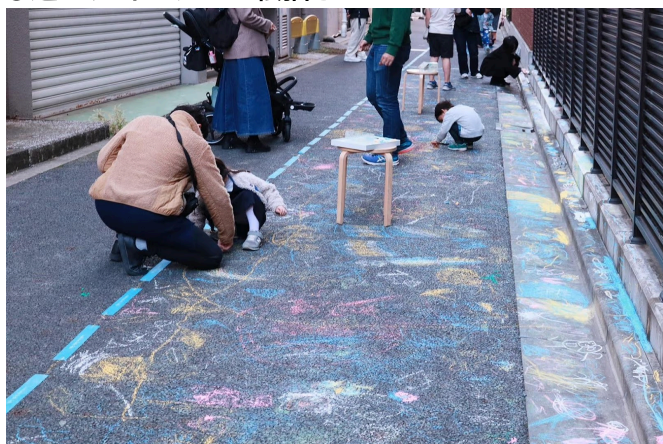
○パズルづくりワークショップ



○立体パズル遊び



○道にチョークでお絵描き



④活動の内容

Tokyo Upcycle

[千代田区ウォーカーブル活動採択案件]

参加無料

2025.12.13 Sat 11:00~16:30

雨天顺延 | 12.14 Sun 11:00~16:30

at 東京都千代田区有楽町2-4-11 付近(高架下)

「モノ」と「空間」のアップサイクルをテーマに、捨てられるアクリル板を再利用し、カバンの展示とまちづくりのアイデアを形にするワークショップを開催

Focusing on upcycling, this event exhibits bags made of discarded acrylic panels and hosts a workshop.



ポンドデザイン研究所×東京都立大学インテリアデザインスタジオ

お問い合わせ | info@ponddesignlab.com

『Tokyo Upcycle』

概要：役目を終えたコロナ対策パーティションを再利用し、カバンの展示とまちづくりのアイデアを形にするワークショップを開催。

開催日：2025年12月13日(土)

設営：9:00~11:00

実施：11:00~16:30

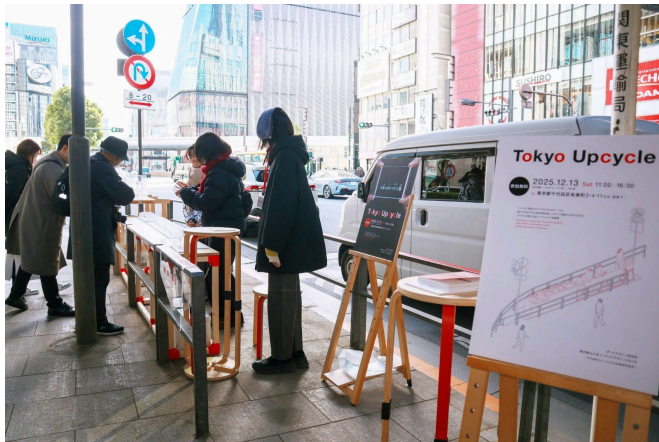
撤収：16:30~18:00

地域課題：会場は都道304線の歩道にあるガードパイプが2重に設置された場所。路上喫煙や無断駐輪、不法投棄の問題に悩まされているエリア。通り過ぎるだけの道ではなく、人が立ち寄り、滞在できる道へと転換することで、明るく開かれた空間として活用することを目標に実施。

ポイント：千代田区役所にて役目を終えたコロナ対策パーティションを活用し、アクリル素材特有の表現を紹介。

来場者数：200名程度

○全体の雰囲気



○アクリルアートづくりワークショップ



○カバンの展示



○アクリル看板



2：活動の実施の仕方

①活動の実施体制

【主催】

ポンド：

プロジェクトマネジメント・外部協力団体との連携・予算管理・企画・フィールドワーク・空間デザイン・制作・現地への定期的な視察・広報活動・各種手続き・荷物搬入搬出・イベント実施

インテ研：

企画・フィールドワーク・プロダクトデザイン・制作・広報活動・イベント実施

【後援】

千代田区景観・都市計画課：

資金面でのご支援・場所調整でのご支援・道路管理者との連携・広報の協力・実施内容に関するアドバイス

②活動の収支状況

【収入合計：33.2万円】

- ・千代田区活動支援金：30万円
- ・ポンドからの活動資金：3.2万円

【支出合計：33.2万円】

- ・交通費：5.4万円
- ・広告費：8.8万円
- ・制作費：12万円
- ・備品費：5万円
- ・謝金：2万円

③広報活動の内容

【すきまキッズラボ】

- ・区広報紙への掲載
- ・近隣町会・商店街組合員へのチラシ配布
- ・千代田区の掲示板へのポスターの貼り付け
- ・町会の掲示板へのポスターの貼り付け
- ・千代田区公式Facebookでの周知
- ・千代田区公式LINEでの周知
- ・千代田区公式Xでの周知
- ・すきまキッズラボ公式Instagramでの周知
- ・チラシ配布(保育園/幼稚園/小学校/児童館/図書館/近隣住宅)
- ・PR TIMESにてプレスリリース配信
- ・都立大 校内へのポスター掲示

【Tokyo Upcycle】

- ・区広報紙への掲載
- ・千代田区公式Facebookでの周知
- ・千代田区公式LINEでの周知
- ・千代田区公式Xでの周知
- ・Tokyo Upcycle公式Instagramでの周知
- ・PR TIMESにてプレスリリース配信
- ・都立大 校内へのポスター掲示

3：今後の活動の展望

①今回の活動を通じて実現した「地域課題の解決」、「新たな価値の創造」

すきまキッズラボ：

地域課題として路上喫煙の問題があったが、イベント実施中は喫煙者は見られず、一時的ではあるものの改善の効果が確認できた。一方で、根本的な解決には1日限定のイベントだけでは限界があり、継続的な取り組みの必要性を感じた。

当日は総勢約200名が小さな空間に集まり、想像をはるかに超える賑わいが生まれた。周辺に大きな公園が少ないことから、住宅街における子どもの遊び場や居場所への需要の高さも明らかになった。また、普段は顔を合わせる機会の少ない地域住民が街中に集い、同じ場を共有する光景から、この場所が「みんなの居場所」として機能していた様子が窺えた。都市部では、地方に比べて自分の住む街にどのような人々が暮らしているのかを実感しにくい傾向にあるが、こうしたウォーカブルな活動は、環境対策や防災、子育てなどにおいて地域住民がゆるやかにつながり、日常的に協力し合える関係性を育むきっかけになると感じた。

Tokyo Upcycle：

路上喫煙や無断駐輪、不法投棄といった行為はイベント実施中には確認されず、改善の効果が見られた。一方で、すきまキッズラボ同様、効果は一時的なものに留まるため、根本的な解決には長期的な視点での取り組みが必要であると感じた。

本企画は普段から人通りの多い場所での開催となった。横断歩道の手前に位置していることから、信号待ちの時間に足を止めて作品を鑑賞する方も多く、立地の特性を活かした展示となった。また、ガードパイプで囲まれたスペースの内側に什器を設置したことで、接触トラブルもなく安全に実施でき、未活用空間としてガードパイプ内側の空間を活用する有効性を実証する結果となった。周辺には夕方から営業を開始する飲食店が多く、時間帯とともに街の賑わいが増していく様子も見られたことから、昼間の賑わいを補完する役割として本企画は丸の内という地域性にも適していると感じられた。

②活動を進める上での課題や苦労したこと

すきまキッズラボ：

住宅街の中でも人通りが少ない場所での開催であったため集客面に課題があり、チラシ配布や掲示板への掲載、SNS発信など複数の媒体を活用した広報活動を行う必要があり、コンテンツ準備に苦労した。

子どもの遊び方や振る舞いを十分に想定しきれていなかった点もあり、立体パズルの破損や転倒といったリスクへの備えが不十分であった。幸い怪我やトラブルは発生しなかったものの、安全性や耐久性、運営時の見守り体制に課題が残る結果となった。

Tokyo Upcycle：

千代田区では前例の少ない都道活用の試みであった。道路使用許可申請等の慣れない手続きに苦慮したが、千代田区役所の方々が警察署との協議や東京都第一建設事務所との調整をサポートしていただき、滞りなく実施することができた。

雨天延期の判断をするタイミングや来場者への周知方法に課題があった。結果としては雨予報はなくなり、予定通り実施する旨をinstagramのストーリーにて告知したが、迅速かつ精度の高い情報発信の必要性を強く感じた。

また、車道や線路に近接した立地条件により騒音が大きく、来場者とのコミュニケーションに支障が生じる場面もあり、運営面での苦労があった。

いずれの催しにおいてもプロダクト制作には多大な時間と労力を要し、企画から実装までの負担の大きさが課題として残った。

③：①や②を踏まえた今後の活動に向けた方針

今回の2つのイベントは初めての試みであったため「問題なく実施すること」を一つの目標として取り組んだ。道路活用における手続きや準備の流れを一通り把握することができたため、次のステップとしては、「01：活動のコンセプトをより明確にすること」「02：制作負担を軽減しながらクオリティを高めること」「03：オペレーションを含めた運営体制を強化すること」を目標に取り組んでいきたいと考えている。

具体的には次のような方針を想定している。01：明確なコンセプトを定めることで運営チームの目指す方向性を一致させ、分かりやすく精度の高い情報発信につなげていく。02：ワークショップ用材料の必要数量の判断が難しかったため、当日の運営フローを早い段階で確定し、予約制の導入により制作数量を明確にするなど検討する。あわせて、制作物の強度試験を実施するなど、安全性の確保に一層努めていく。

03：イベント内容に応じてスタッフ数を想定の2倍程度確保するなど、臨機応変に対応できる体制を整えていく。

今後は道路占用許可の取得に挑戦するなど、より発展的な道路活用を目指していきたい。

ユニークでポテンシャルを秘めた未活用空間を、人々が自然に集い滞在・滞留できる居場所へと転換することで、ウォーカブルなまちづくりの可能性をさらに広げていきたいと考えている。

